

野洲駅南口周辺整備に係る国交省サウンディング参加結果(速報)について

【名称】令和3年度官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォームサウンディング

【主催】国土交通省 【日時】令和3年11月12日(金)11時~12時 WEB開催

【案件名】JR東海道線野洲駅南口複合商業施設整備事業

【説明】企画調整課 小池、中江 【参加】民間事業者 10社(先着順)

【結果】

<事業者からの質問>

- ・公共、民間の割合はどの程度を想定しているのか。公共利用と民間利用の割合を早く決めることで、事業者からの発案がしやすい。
→現時点では公共として観光案内所や図書館の貸出返却機能を想定。他は今回のサウンディングを踏まえ検討する。

<事業者からの助言・提案>

- ・プロムナード(高架歩道)で、駅の改札を出てそのまま商業施設、病院へ行く流れが出来れば賑わいを生むことはできる。
- ・企業が多く立地しているので、飲食店や出張者を対象にしたビジネスホテル、オフィスビル併設も考えられる。
- ・駐車場をどの程度取れるか、というのも重要な要素である。
- ・大規模な商業施設というよりは、シェアオフィスや、市民が気軽に利用できる共用のリビング的な空間のイメージで憩いの場を作っていくと良いのではないか。コロナ禍でリモートワークが増え、人と人とのつながりが生まれづらい中、そういったもので市民との繋がりを生む場所にしてはどうか。
- ・事業対象地の①と②を2段階で整備する想定をされているが、可能であれば一緒にした方が良いと思う。
- ・民間のみではなく公共施設との一体整備によって、賑わいの相乗効果が生まれるのではないか。
- ・土地利用について、権利関係や区分所有、共用部分をどう扱うか等今後決めなければならない中身が多い。

<まとめ>

上記の意見を参考に、今後、個別サウンディング等を実施し、課題の整理や公募条件の精査を進めていきたい。

▽地方ブロックプラットフォームサウンディングとは

官民連携による地域づくり（インフラの整備・維持管理、公的不動産の有効活用等）では、市場性の有無や実現性の高い事業スキームについて、民間事業者から幅広くアイデア・意見を聞き事業に反映させることで、より効果的な事業実施が可能となることから、全国をブロックに分け地方公共団体等を対象に平成 29 年度から国土交通省が主催している。コロナ禍前は直接対話形式で開催。

▽サウンディングまでの流れ

- ①国土交通省が、地方公共団体に対し、サウンディングを行いたい案件を募集
- ②地方公共団体は、民間事業者に相談したい案件の詳細とその検討段階を明らかにした上で登録
- ③国土交通省のホームページに案件概要が掲載され、助言等を行う民間事業者を募集

▽事業の検討段階について

案件登録の際、下記 4 つのステージから選択。当市は「事業発案」で登録。

- ・ 事業発案 対象地等の活用方針が明確に決まっておらず、助言・提案を受けて新たに計画を検討する段階であり、民間事業者から自由度の高い助言・提案を希望するもの。
- ・ 事業化検討 対象地の活用方針は明確に決まっているが、想定される具体的な課題がある段階であり、民間事業者から事業化に向けたより有益な助言・提案を希望するもの。
- ・ 事業者選定 対象事業の公募条件について、民間事業者から助言・提案を求めるもの。
- ・ その他 上記以外（自治体が詳細を記載）